

【民法】

問題1 以下の事実を読み、各小問について、現行民法に基づいて解答しなさい。
なお、各小問は独立の問題である。

【事実】

1. Aは、15歳の中学生である。Aの父親B、母親Cは、Aを甘やかしており、Aが小学生の頃から、クラスメートにひどいいたずらやいじめをしても注意もせず、Aは、中学に入る頃には札付きの不良少年になっていた。Aは、たびたびバイクを盗んで運転し、物損事故を起こしたり、補導されていたが、BCは、Aを注意せず、むしろ警察や教師に文句を言うなど、Aを甘やかしていた。
2. 2020年4月1日、Aは、盗んだバイクを無免許で運転し、暴走行為をしていた。本件バイクには、Aの友人でやはり札付きの不良少年Dが後部シートに乗っていたが、時折、AとDは、運転を代わったり、曲乗り運転をするなどして共同して暴走行為を行っていた。
3. 同日22時頃、Aの本件バイクは、取締り中のパトカーに追跡されることになり、逃走中のAは、交差点でEの自動車と衝突する事故を起こした（以下「本件事故」という）。本件事故の結果、Eの自動車に同乗中のFは、右腕を骨折するけがを負い、このため、仕事を1カ月休職し、さらに、治療費もかかり、合計50万円の損害を被った。また、Aのバイクに同乗していたDも、全身打撲の大怪我を負い、治療費として100万円の損害を負うことになった。
4. 本件事故の原因として、AもEも互いに前方不注視の過失が認められ、その過失割合は7：3と認定されている。

DはEに対して、FはBCに対して損害賠償を請求しようと考えている。

以下の解答に際しては自賠法上の問題については考慮しなくてよい。

【設問】

小問1 Fの損害賠償請求に対して、BCは、Aが15歳であることを理由に反論しようとしている。BCの反論はどのような内容の主張であるか。それを考慮した上、Fは、どのような法律構成で損害賠償請求をすることが考えられるか、要件を挙げ、要件を充足する事実を示して解答しなさい。

小問2 FがEの妻であったとき、Fの請求に対して、BCが主張すると考えられる反論は何か。また、FがEの恋人であった場合は、同様の反論は認め

られるか。それぞれの場合について根拠を示し、Fの請求の当否について解答しなさい。

小問3 DのEに対する損害賠償請求に対し、Eは、Aの過失を主張して反論をしようと考えている。どのような主張をすることが考えられるか。またEの反論を踏まえて、Dの請求の当否について解答しなさい。

問題2 以下の事実を読み、各小問について、現行民法に基づいて解答しなさい。なお、各小問は独立の問題である。

[事実]

1. Aは、所有する甲土地および乙土地をBに売却し、引渡しとともに2020年6月に登記も移転した。ところが、Bが代金を支払わなかったため、同年7月30日、Aは、上記売買契約を解除し、Bに対して移転登記の抹消と土地の引渡しを求めて訴えを提起した。
2. ところが、上記契約解除に先立つ同年7月20日、Bは、甲土地をCに売却し、移転登記が経由されていた。
3. また、同年8月10日には、Bは、乙土地をDに売却し、移転登記が経由された。Dは、Aに対して長年恨みを抱いており、AB間の上記売買契約およびその解除を知っていたが、Aの乙土地回復を妨害する目的で、乙土地を手に入れたのであった。同年9月20日、Dは、Dが乙土地を手に入れた経緯を全く知らないEに乙土地を売却したが、現在までEへの移転登記は経由されていない。

[設問]

- 小問1 AのCに対する甲土地明渡請求の可否について、解釈上の問題点を明示して論じなさい。
- 小問2 AのEに対する乙土地明渡請求の可否について、解釈上の問題点を明示して論じなさい。
- 小問3 [事実]3の下線部のEへの移転登記が経由されているか否かで小問2の結論が変わるか否かについて説明しなさい。